

目 次

□ 實際的教育に重を置く	保科孝一
□ ロシアに就いて	中村、矢谷
□ 感想九篇	
□ 春の暮より (歌)	尾上 柴舟
□ 豊島野 (歌)	太田 光子
□ せんせい (歌)	岩田 ふみ
□ 朝曇り (歌)	安永 みち子
□ 春より夏へ (歌)	關 みさな
□ 詠草より	
□ 文科の動靜 □ 遠足と旅行 □ 第三十八回文科會記事 □ 會計報告	
□ 研究(地理参考書)	
□ 本年度の豫告 □ おしらせ	
□ 中川先生を送る	

實際的教育に重を置く

保科孝一

【一】

歐米各國が近來實際的教育にすこぶる重を置くやうになつて來て居るのは、まことに著しい事實である。國民教科のすべてを實用に近づけよう、またなるべく實用し得るやうに教育しようとしてゐる。たとへば獨逸の小學校における割烹科について見ても、その一般の傾向を知ることが出来る。獨逸の小學校では、割烹の授業を四人一組一マルクの豫算で計畫してゐるが、この四人一組といふのは、獨逸の人口を戸數で割ると四人餘になるから、一家族の平均でまづ大體四人と見ての標準である。四人を一組として料理法の計畫を立てると、かりに二人分を調理するときでも、三人分を調理するときでも、すぐに應用が出来るが、もし十四五人あるひは二十三四人の學級を標準として計畫を立てた教案であるか、または牛肉一斤を調理する標準によつて計畫を立てた教案であると、これを三四人の客に對して應用する場合に、しばし誤算して調理をあまりることがある。しかしながら四人一組として作成した教案ならばほとんど誤算の恐がない。もつとも十四五人の客を催すとすると、あるひはその應用がすこしく困難になるかも知れないが、かゝる多數の來客が臨時にあることはない。臨時の客は主人と併せて二人か三人、多くて四人であるから、四人一組で練習した教案を應用するのは何等の困難もない。たとひ臨時突發の場合でも、調理法を誤つて恥をかく恐がなく、鹽加

減を誤つた花嫁の喜劇は起らないわけである。獨逸では中流以下の食物である。二マルクは我邦の五十錢に當るから、四人一組一マルクの豫算といへば、獨逸では中流以下の食物である。二マルクは我邦の五十錢に當るから、四人五十錢で食事するには、つまり惣菜料理でなければならぬ。ゆゑにこの標準もきはめて實用的で、これならば大抵の家庭において應用することが出来る。しかるに我邦では平生の惣菜について割烹の練習を行ふことが稀で、おほくは平生家庭の食膳に上らないオムレツやピテキの調理を實習するから、あまり結果が上らないのである。大根・人参・芋あるひは鰯・秋刀魚・鰯といふやうなものゝ調理法を實習してこそ、割烹料の能率が增大すると思ふ。

獨逸の小學校では、ひとり割烹料のみならず、すべての教科が實用を主として取扱はれて居るから、社會生活に非常な利便を與へるのである。國民教科を社會の實生活に結びつけて教授するから、その能率がますます増大するので、たとへば半熟の玉子をこしらへるのに、どの家庭でもかならず砂時計を用ゐて居る。これを用ゐると、幾十の玉子を半熟にして、決してその程合を誤ることがない。もし下宿などで半熟の程合を誤つて客に進めることが出来ないものを一つこしらへても、非常な損失である。鶏卵一個五錢位であるから、これの一つやりそこなつても、その損失が輕少なやうに見えるが、しかしながら獨逸人は決してこれを輕少と考へない。

また獨逸の家庭では、風呂を沸すのにならず湯メートルを用ゐる。ゆゑに女中に攝氏の三十八度と命じておく。いつでもその温度の湯をこしらへて呉れる。女中は攝氏の三十八度の湯を作るには、どれだけの

水を釜に入れ、どれだけの石炭をたけばよろしいといふことを計算して、すこしの無駄もしない。室内の暖房についてもやはり同様である。窓はすべて二重になつてゐて、その窓の外側へ寒暖計を設備して置き、室外の温度が攝氏の零下五度の時に、この室内を晝夜攝氏の十八度から二十度に保温するには、どれだけの石炭を暖爐に投じて置けばよろしいかを計算して、すこしの無駄もしない。我邦では石炭を無計算に焼くから室内が堪へられないほど熱くなる。窓を開ける。その中にたちまち冷却するからまた焼くといふ状態で、その間に石炭と勞力をどれだけ浪費するか分らないのみならず、やゝもすると風邪にかゝるのである。この差別はつまり國民教育の行き渡つて居ると居ないにもよるが、しかし實用といふ點にふかく注意するにしない原因すると思ふ。獨逸の料理店でソツプ皿に寒暖計をつけて置くことがあつたが、攝氏の四十度のソツプと注文すると、ソツプ皿の寒暖計が四十度を示して居るものを運んで來るから、これなら安心舌をやく恐がない。もつともこれは科學を極端に應用したものと見られるが、とにかく獨逸が近來科學の知識を日常生活に應用して、物資と勞力と時間の經濟を計つてゐることは、まことに驚嘆に價する。我邦に來て居る獨逸の捕虜が、かのバットといふ煙草の銀紙を丁寧に保存し、それを熔かして汽罐車の模型を作成したといふやうなことを見ても、かれらはいかに經濟思想に富み應用の才に長じてゐるか證明される。しかもこの應用力の發達は實用的教育の賜物であることは言ふまでもない。

【三】

以上のごとき實際的教育は、國語科においても同じやうに重を置かれて居る。たとへば近來直觀教授の盛になつて來たことも、やはりこの趨勢に促されたものと見ることが出来る。獨逸の小學校では、低學年の間

二時間乃至四時間直觀教授を特設して居るが、これによつて日常の生活に必要な一般の知識を授けるのである。郷土において見る有用植物や花卉の類は、直觀的に説明を與へるから、獨逸の小學兒童はこれに關する知識を豊富に有して居る。勿論獨逸のみならず英佛の小學兒童も同様であるが、これを我邦の小學兒童に比較すると、そこに雲泥の差があるやうに思ふ。教科書にあらはれる有用植物は、校庭の一隅に栽培してしらす／＼の間に發育の状態やその性質等を會得せしめ得るやうに設備しあるから、學校において習得した知識はたゞちに實際に應用することが出来るのである。伯林の小學校を參觀した時に、第三學年の兒童に市の行政組織に關する一般的知識をきかして通俗的に與へてゐるのを見ておほいに敬服したことがあつた。第三學年の兒童に行政組織に關する知識を、たとひ一般的でもこれを説明することは決して容易の業でない。これを通俗的に實際的に説明することに勗めてゐるのは、つまり日常生活に必要な知識を實際に應用させようといふ近來の趨勢に外ならぬのである。

【四】

國語教材の取扱についても、至るところにこの傾向を見ることが出来る。たとへば文法教授にしても、近來英吉利や獨逸においては、まつたく形式的文典を教科書として用ゐないやうになつた。つひ近ごろまで現在我邦の中等學校において一般に採用されて居るやうな形式的文典を用ゐてゐたが、今日ではほとんどこれを廢してしまつた。その理由はかゝる形式的文典を教科書としては、實用な文法上の知識を授けることが出来なないといふのが、その有力なる理由である。中等學校や小學校において、文法を教授するのは、正確に自由國民文學を了解し、あるひは思想を發表する能力を養成するのが重なる目的である。もとより論理的思

想を養成することも大切な目的であるが、理解力と發表力を正確ならしめることも重要な任務である。ゆゑに文學を理解し、思想を發表するに必要な文法的知識を授けるやうにしなければならぬので、ことに兒童や生徒が普通に誤り易いやうな文法的知識については、ふかく注意して練習する必要がある。普通教育においては、文法を文法として教授するのでなく、以上に擧げた目的を達し、任務を盡すために設備されて居るのであるから、これに對して現在わが中等學校が一般に採用して居る形式的文典は、はなはだ不利益である形式的文典はとかく文法を文法として説明する傾向があるので、實際的知識を與へるには、不便であるから、英吉利や獨逸では今日あまり用ゐなくなつたのである。我邦でも中等學校における文法教授は、實際的生活の上にあまり効果がないといふ非難がある。今日の實況から見ると、この非難は尤であるが、それらもつまり實用に適しない教材を取扱ふからで、文章を讀んだり書いたりする上に實際必要な教材を主として教授し練習すれば、その効果は決して鮮少でない。これまで國民教科を社會の實生活に近づけようといふ注意が一般に缺けてゐたから、今日のやうな結果になつてゐるので、これはわが國民教育における一大通弊である。

要するに國民教育における各教科は、社會の實生活と相俟つて發達すべきものであるのに、今日のごとく孤立してゐて、しかもその教法が實用に遠ざかつて居るやうでは、到底その實績を擧げることが出来ない。ことに國語科のごときは、おほいに社會の實生活に近づけて、この教法を工夫する必要があると信ずる。